



京都大学工学研究科技術部における技術職員研修 京都大学工学研究科技術部 ○原田治幸, 八田博司, 木下定, 服部俊昭, 日名田良一

1. 京都大学工学部・工学研究科

工学研究科

地球系専攻
C-1 建築学
C-2 社会基盤工学
C-2 都市社会学
C-2 都市環境工学

物理系専攻
C-3 航空宇宙工学
C-3 原子核工学
C-3 機械理工学
C-3 マイクロエンジニアリング
吉田 材料工学

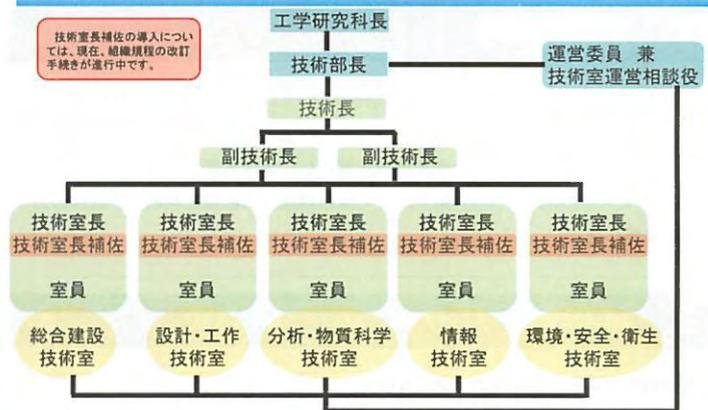
化学系専攻
A-2 物質エネルギー化学
A-3 材料化学
A-3 高分子化学
A-4 合成・生物化学
A-4 化学工学
A-4 分子工学

電気系専攻
A-1 電気工学
A-1 電子工学

吉田工学部
地球工学科 物理工学科
建築学科 工業化学科
情報学科 電気電子工学科

工学研究科附属センター
B 情報センター
B 柱インテックセンター
EM 環境安全衛生センター
宇治 量子理工学研究実験センター

2. 工学研究科 技術部



3. 研修委員会

構成員

研修委員会は15名前後の技術職員で構成されている。これはもう一つの委員会である広報・編集委員会も同様であり、各年度で両委員会の間で委員のトレード(5名程度)を行っている。

役割

- (1) 年2回開催の技術職員研修会の企画、運営を行なう。
- (2) 新規採用技術職員研修の企画、運営を行なう。
- (3) 工学研究科技術部の技術研修のあり方について検討を行ない、室長会議に提案を行なう。
- (4) 年度毎に委員会活動のまとめを行ない、次年度の委員会への引き継ぎを行なう。
- (5) 年度末に次年度の委員長、副委員長を選出する。

4. 工学研究科技術職員研修

京都大学理学研究科附属天文台 - 飛騨天文台 - 2011年度 第一回(施設見学)



東京大学宇宙線研究所附属神岡宇宙素粒子研究施設 - スーパーカミオカンデ -



2011年度 第二回(見学・講義・実習)



2012年度 第一回(講義・実習)



2012年度 第二回(講義・施設見学)

京都大学 フィールド科学教育研究センター 森林ステーション 芦生研究林



5. 新規採用技術職員研修



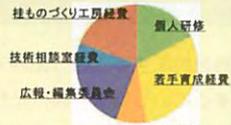
6. 個人研修

☆個人研修については技術室長会議が審議して実施を承認する。

個人研修の実績(2011年度)

蛍光X線講習会(EDX一般操作講習会)	1名
表面分析実用化セミナー'11	2名
日本化学会第92春季年会(2012)	1名
九州地区総合技術研究会	1名
実験・実習技術研究会 in 神戸	7名
信州大学機器・分析技術研究会	3名

2012年度技術部予算配分



対象者は、
①採用から5年以内、
または、
②36歳以下、
のいずれかの条件に
該当する技術職員。

7. 研究科長裁量経費による育成研修

☆今年度(2012年度)は研究科長育成経費の公募で「若手育成経費」が認められた。
☆研修内容について室長会議で審議した結果、11名が提出した25件について実施が承認されている。(2013年2月現在)

実施済み及び実施予定の育成研修の内訳

ポリテクセンター(関西、京都、滋賀)による在職者のための講習	10件	3名
企業、学会等によるセミナー、講習会など	10件	8名
各大学、研究所が主催する技術研究会など	5件	4名